

ベルランド総合病院小児科

はじめに

生長会ベルランド総合病院は1982年に地域に密着した病院としてとして堺市東山に開院しました。病院周辺には今なお田園が広がり、のどかで季節の移ろいを感じることができます。また、堺市では唯一のNICU認可施設で、以前より地域の周産期新生児医療および小児医療を担っています。

当科の診療・特徴

堺市の小児科の中核病院として急性疾患を中心とした診療、および幅広い様々な慢性疾患の診療および新生児医療をおこなっています。

現在の小児科病床は一般小児科病床18床、新生児病床18床（内NICU認可病床12床）で、産科のMFICUと並行して新生児医療の機能強化と充実をはかっています。また2020年から新生児コールと称して、院外からの新生児搬送依頼があれば当院のDrカーで直接に迎えにいける体制を整えています。

小児科の現在のスタッフは12名（内小児科専門医7名）で、チーム医療を信条として診療をおこなっています。専攻医の教育指導にはスタッフが皆熱心であり、今までに多くの小児科専門医を排出しています。

NICUは24時間365日の新生児当直体制で26週以降の出産を受け入れています。2019年の新生児入院は237名で、新生児搬送は34名、人口換気症例は47名でした。超低出生体重児は7名当院で生まれました。

2019年の小児科診療実績としては一般小児科入院数843名で、急性期感染症疾患のみならず幅広い慢性疾患も多数入院しています。

アレルギー外来には多数の患者が通院しており、食事アレルギーのチャレンジテストをしています。また小児神経疾患の精査治療にも力を入れており発作時ビデオ脳波測定によるてんかんの精査や小児の発達障害の診療をしています。

安定した質の高いチーム医療を継続して行える体制を整えて、今後も地域医療支援病院として地域の小児医療を担う所存です。

